



新しい大河ドラマ「どうする家康」が始まりました。久々に戦国時代が舞台のドラマです。どんな物語になるか楽しみです。

さて、徳川家康は晩年、歯が全て抜け落ちてしまったため、入れ歯をしていたというのは、書物などにも記されている有名な話です。この時代の入れ歯は、木ろうで型を取り、その歯形を元に、つげの木を削り作られていました。また、前歯には自分の歯か他人の歯を絹糸で台にくくり付け、奥歯は金属の釘を何本も打ち付け、よく噛めるように工夫がしてありました。部分入れ歯にも対応したり、和紙を挟んで入れ歯安定剤のような役割を持たせていたそうです。400年以上も前に、現代のような精巧な入れ歯を作っていたなんて驚きですね。

現在では、歯が抜けてしまったら、入れ歯・ブリッジ・インプラントなど様々な治療方法が選べますが、いつの時代でも一番大切なのはやはり自分の歯です。虫歯・歯周病予防をこころがけましょう！

ひまわり歯科矯正歯科からのお知らせ



PMTICを受けましょう

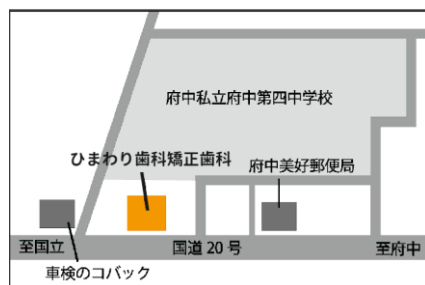


ひまわり歯科矯正歯科

電話 042-352-8241

診療科目 一般歯科、小児歯科、歯列矯正、審美歯科
インプラント、予防検診

交通手段 〒183-0045 府中市美好町2丁目10-3



診察時間	月	火	水	木	金	土	日
午前	9:30~ 13:00	9:30~ 13:00	休診	9:30~ 13:00	9:30~ 13:00	9:30~ 13:00	9:30~ 13:00
午後	14:30~ 19:00	14:30~ 19:00	休診	14:30~ 19:00	14:30~ 19:00	14:30~ ※18:00	14:30~ ※18:00

※土・日の午後は 18:00 まで 休診日：水曜日・祝日

抜けた歯を放置するとどうなる？

歯周病や事故で残念ながら歯を失ってしまったとき、「抜いたのは奥歯で目立たないから」「1本くらい歯がなくても不便はないから」「痛みはないから」と抜けたまま放置してしまうと、時間が経つにつれ様々なお口や体の不具合が出てまいります。



◆歯並びや噛み合わせが崩れる

歯は、空いたスペースを埋めようとする働きがあります。歯が抜けた部分をそのままにしていると、両側の歯が傾いて倒れてきたり、反対側の歯が伸びてきて歯並びや噛み合わせが乱れ始めます。

◆見た目が悪くなる

歯が抜けると歯茎が下がってきます。また、歯並びのバランスが悪くなると、頬がこけたり、口元の皺が増えたりして、顔の見え方が変わってきます。

歯が抜けている所は、笑った時やお話をしているときに目立ちます。そのため、あまり笑えなくなって表情が不自然になったり、口元を手で隠すような仕草も増えてきます。

◆胃腸に負担がかかる

歯が抜けてしまうと噛む能力が下がるため、食べ物をうまく噛めないまま飲み込んでしまいがちになります。そうすると胃に負担をかけ、消化不良を招きます。きちんと栄養を吸収できなければ、免疫力が低下し、栄養不良に陥って、フレイル（虚弱）体質になっていきます。

◆認知症のリスクが上がる

歯が抜けると、噛むことによる脳への刺激が減少して、認知症のリスクが高まります。奥歯を一本失うと、なんと40%もかみ砕く力が低下し、認知症のリスクは2倍になるといわれています。

★歯を失ったときの治療法の比較

歯を失った際には、主にインプラント、入れ歯、ブリッジの3つの治療法があります。歯科医師と相談の上、ご自分にとって納得のいく治療を選びましょう。

	インプラント	入れ歯	ブリッジ
			
メリット	<ul style="list-style-type: none">天然歯と同じような仕上がりになる自分の歯と同じように噛める	<ul style="list-style-type: none">治療回数や通院回数が比較的短い種類が選べる手術が不要保険がきく素材もある	<ul style="list-style-type: none">治療回数や通院回数が比較的短い手術が不要保険がきく素材もある
デメリット	<ul style="list-style-type: none">保険がきかない手術が必要	<ul style="list-style-type: none">違和感がある目立つ毎日のお手入れが必要	<ul style="list-style-type: none">汚れがたまりやすい両隣の歯を削る必要がある隣の健康な歯を削る必要がある



ひまわり歯科矯正歯科

